

## 2025年度 事業報告

あかし女性応援ねっと

## 1 事業実施の方針

あかし女性応援ねっとは、2016年度に発足し、地域における女性活躍を促進するため、『深める学びとつながり』をコンセプトに、様々な事業を実施してきました。

2025年度は、発足10周年を記念し、この10年の間に大きく変容した女性活躍を取り巻く状況を踏まえ、これからの明石市の女性活躍をみんなで改めて考える機会として、家庭での家事シェアや男性の家事参加の機会づくりとしてのセミナーを開催するとともに、「ジェンダー平等のこれまでとこれから」をテーマにフォーラムを開催しました。これらを通じ、会員以外の方や男性にも参加いただき、交流やつながりを一層深めました。

## 2 事業の内容及びスケジュール

日程	事業の内容	備考
2025年 5月21日	第1回運営委員会	会員総会の招集
7月5日	2025年度 会員総会	会場:ウィズあかし フリースペース 参加者:会場 19名、オンライン 4名
	10周年記念事業イベントセミナー&交流会 「暮らしを“共につくる”という選択～これからの家事と家族の話～」	会場:ウィズあかし フリースペース 講師:三木 智有 さん 参加者:会場 28名、オンライン 5名 ※アーカイブ配信実施
8月20日 8月21日	【理工チャレンジ(協力)】 ◆「P&G 明石工場 夏のリコチャレ 2025～パンパースの生産工場では理系の仕事を体験しよう～」	会場:P&G 明石工場 参加者:(2日間で)26名 ※両日とも同内容
12月25日	【理工チャレンジ(協力)】 ◆「冬のリコチャレ 2025 Caterpillar Engineering Day」	会場:キャタピラー・ジャパン明石事業所 参加者:20名
2026年 2月22日	あかし女性応援ねっと設立10周年記念フォーラム 「ジェンダー平等の『これまで』と『これから』」 ※講演・パネルディスカッション・交流会	会場:ウィズあかし フリースペース 講師:大崎 麻子さん 参加者:会場 85名、オンライン 9名 ※アーカイブ配信実施
3月18日	第2回運営委員会	次年度事業計画を検討

## 3 通年事業

事業名	事業の内容	備考
広報基盤の充実	ホームページの運営	「会員募集」「会員間連携」「情報発信」のプラットフォームとし、イベント周知や啓発事業の掲載等を行った。
	リーフレットの配布	あかし女性応援ねっとのPRを強化するため、リーフレットの配布を行った。
会員募集	各種イベントや研修で女性応援ねっと会員を募集 ・共催でのイベントや研修の開催 ・会員募集チラシの配布	【会員数】(2026.3末時点) 団体 69 (+ 1) 個人 126 (+ 6) ※比較は2025年4月末との差
会員間連携	・会員間の連携により実施した事業に係る進捗・実績を報告 ・会員が実施する事業への協力	

事業名	事業の内容	備考
情報発信	女性活躍を応援する取組やイベントの紹介等	公式ホームページなどを活用するとともに、会員へ積極的に情報提供を行った。

#### 4 その他

内閣府の「地域女性活躍推進交付金事業」として実施するため、事業内容や開催数、会員数などの成果を国・県へ報告するとともにホームページ等で開示。

# 開催報告

あかし女性応援ねっと 10周年記念事業プライベート  
2025年度 会員総会・セミナー&交流会

資料1-2

■2025年7月5日(土)

■複合型交流拠点 ウィズあかしフリースペース

## 会員総会

13:00～ 2025年度 会員総会

## セミナー&交流会

13:30～ セミナー

「暮らしを“共につくる”という選択  
～これからの家事と家族の話～」

14:55～ 交流会

■参加者

会員総会 会場20名、オンライン4名

セミナー 会場28名、オンライン5名

総合  
司会

田邊 美代子

あかし女性応援ねっと 運営委員

会員総会

議長

崎野 圭子

あかし女性応援ねっと 代表

議案審議では、2024年度の事業報告および収支決算について審議し、可決されました。

報告事項では、2025年度の事業計画および収支予算、運営委員の交代、会員の加入状況について報告がありました。

あかし女性応援ねっとは、今年度、発足から10周年を迎えます。事業計画では、本日のセミナーを含めた10周年記念事業について報告しました。

開会  
挨拶

森 一美

あかし女性応援ねっと 代表

市長  
挨拶

丸谷 聡子

明石 市長

交流会  
進行

柏木 登起

あかし女性応援ねっと 事務局長

閉会  
挨拶

甲谷 智己

あかし女性応援ねっと 副代表

## セミナー

「暮らしを“共につくる”という選択

～これからの家事と家族の話～

講師

みき ともあり  
三木 智有さん

NPO法人tadaima!代表  
家事シェア研究家  
インテリアコーディネーター

「家事は面倒だ」「家事が多くて、自分の時間がない」そんな悩みや課題の解決に向けて、ヒントを得られたセミナーとなりました。

家事の担い手不足による生活の「ゆとり」のなさを多くの人を感じている中、働き方を変えなければ、家事に費やす時間が足りない現状があります。これからは、「家族と暮らしを営む権利」を取り戻す戦いが必要です。

“仕事が忙しいから”と、家事をしないなんてもったいない！！なぜなら、家事をするということは、自分自身や家族をケアし、小さな達成感をたくさん感じられ、自己効力感を高めることにつながるからです。

自分の暮らしを見つめ直し、家事を負担でなく、自分を整える楽しみと捉え、完璧よりも心地よさを目指すことの大切さに気づかせてくれた今回のセミナーは、“家事”の捉え方や考え方が変わるきっかけになりました。

## 交流会

セミナー参加者による交流会を開催しました。講師の三木さんも参加いただき、セミナーでは聞けなかったことを質問したり、各々の家事について共有したり、日頃お話しすることがない分野の方と交流ができる機会となりました。





# 夏のリコチャレ 2025



明石市では、市内に工場があるP&Gジャパンと連携し、8/20・21の2日間、現地で工場見学もできる夏のリコチャレを開催しました。

2025

8/20 WED

8/21 THU

## P & G 明石工場 夏のリコチャレ 2025

～パンパースの生産工場では理系の仕事を体験しよう～

「将来の夢について考えたい」「理工系の工場に興味があって」「親が勧めたから」など様々な理由でリコチャレに申し込んだ中学生たち。会社紹介のあとは、工場見学と仕事体験へ。VR体験、機械のメンテナンス体験、おむつの品質検査体験の3つのチームに分かれて体験しました。体験後は座談会形式での質問タイムです。



おむつの吸水力を確認する参加者



若手社員も多く参加し、和気あいあいとした雰囲気の中、仕事のやりがいや社員の中学生時代のことなど、気軽に聞くことができました。

参加者からは、「次は別の体験がしたい」「参加する前より理系に興味があった」といったお声を多くいただきました！

開催日時

2025年8月20日(水) 13:00～16:00  
2025年8月21日(木) 13:00～16:00

会場

P & G 明石工場

参加者数

中学生 26名(2日間計)



冬のリコチャレ2025

資料1-4



# Caterpillar Engineering Day

明石市では、市内に工場があるキャタピラー明石事業所と連携し、工場見学と理系のお仕事体験ができるリコチャレを開催しました。

開催日時	2025年12月25日(木) 13:00~17:00
会場	キャタピラージャパン明石事業所
参加者数	中学生 20名

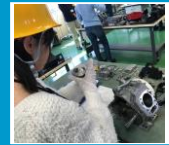


電子工作キット（うそ発見器）を作ります

理工系分野に興味がある中学生を対象に開催しているリコチャレ。今回の会場は、キャタピラー明石事業所です。工場では、ショベルカーの溶接や塗装、組立作業を間近で見学することができました。迫力満点の作業にみんな、興味津々！

3つのうち1つを選んだお待ちかねの体験では、「はんだづけ自体初めて」「プログラミングってどうやるの」と不安もありましたが、社員とコミュニケーションをとりながら、熱心に取り組み、完成させることができました。

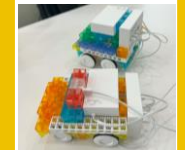
エンジン組立体験



電子工作キット製作体験



プログラミング体験



最後はキャタピラーの若手社員も多く参加した座談会。和気あいあいとした雰囲気の中、中学生からは「学生時代に大切な科目は何か」など、将来を見据えた質問も聞かれました。「授業では学べないようなことを学べた」「将来をしっかりと考えたい」といった感想がよせられた今回のリコチャレ。市では、中学生たちが性別にとらわれず自分たちの将来を考えられるよう、今後も応援していきます！



キットを動かすプログラムを設定します



主催：キャタピラージャパン（明石事業所）・明石市

（協力：あかし女性応援ねっと）

# 開催報告

## ジェンダー平等の『これまで』と『これから』

資料 1-5

■2026年2月22日(日)

■あかし市民広場(パピオスあかし2階)

13:30～ 開会

【第1部】基調講演  
「ジェンダー平等の現在地」

14:45～ 【第2部】パネルディスカッション  
「あかしのジェンダー ～“あたりまえ”を見つめ直す～」

15:40～ 【第3部】交流タイム  
「みんなで語ろう！あかしのジェンダー平等のこれから」

総合司会

あかし女性応援ねっと  
事務局長 柏木 登起



■参加者 85人

### 開会あいさつ

設立から10年、女性活躍推進といってもどこに焦点を当てて活動していくべきか、試行錯誤の10年であったと思います。多方面からのご理解とご支援を賜り、この日を迎えられたことを嬉しく思い、みなさまのお力添えに感謝申し上げます。

本日のフォーラムは、これまでの10年を振り返り、また、次につながる10年をどのように目指していくのかをみなさまと一緒に考えていきたいと思ひます。みなさまの忌憚ないご意見やご感想を聞かせていただき、よい時間になることを願っております。

あかし女性応援ねっと  
代表 崎野 圭子・森 一美



### GUEST

丸谷 聡子 明石市長

設立10周年おめでとうございます。この10年間、あかし女性応援ねっとは、勉強会や講演会などを積み重ねてこられました。女性だけではなく男性もいろんな変化があった10年でしたが、このような活動があったことで頑張ってくれた方もいらしたのではないのでしょうか。

明石市では、「あかしジェンダー平等の推進に関する条例」を策定し、学校でのジェンダー教育や男性の家事・育児参画などに取り組んでいます。市役所では、男性の育児休暇取得を応援し、今後は「みらい人財育成プロジェクト」の基本方針をつくり、新たな仕組みも含めて取り組んでいくところです。あかし女性応援ねっとのこれからの10年の活動が、ますますこの明石市にとっても素晴らしいものになるよう応援してまいります。

## 第1部 基調講演

ジェンダー平等の現在地

講師 大崎 麻子さん  
特定非営利活動法人Gender Action Platform 理事

国際的にご活躍されているジェンダー・スペシャリストの大崎さんにジェンダー平等をめぐる世界の潮流をお示しいただきながら、ジェンダー平等の日本の現在地についてや、これからの「明石のジェンダー」を考えるヒントについてお話いただきました。

「ジェンダー平等」はSDG sの5つめの目標として設定されていますが、17すべての目標において、ジェンダー視点のシステムティックな主流化(男女別データの収集、ジェンダー分析、意思決定の場の男女比の均衡)が必要とされています。日本では 2022 年以降、大企業に対して男女間賃金格差や女性管理職比率、男性育児取得率などの情報開示が義務化されたことを契機に、構造的課題を可視化・分析する取組がようやくが進み始めました。

国は、地方の人口減少の要因として若年女性の流出を挙げています。豊岡市、福岡市、松山市では、自治体や女性団体が中心となり、職場・家庭・地域・学校などに存在するさまざまな無意識のバイアスが、若年女性の地域外への流出や女性管理職につながっていることを明らかにし、その改善に向けた取り組みを進めています。

ジェンダー意識の形成には、日々の働き方や制度の在り方が深く関わっているため、社会や組織に内在するバイアスを可視化し、その背景を分析した上で、次の一手をどう進めていくかを考えていくことが大切です。



## 第2部 パネルディスカッション

あかしのジェンダー  
～“あたりまえ”を見つめ直す～

様々な分野で活躍する4人のパネリストに、「あかしのジェンダー」についてそれぞれの取り組みをお話いただきました。

コーディネーター

大崎 麻子さん

### 上林 将経さん 株式会社 上林電気商会 代表取締役

経営者として企業を強くするには、男女ともに休みを取りやすい環境や、女性の社員登用および活躍推進であると気づき、男性の育児休業を取得しやすい仕組みづくりを進めるなど、柔軟な働き方ができる環境を整えています。

### 村崎 恭子さん 「メルとモノサシ」運営

かつて女性のための制度が充実した企業に勤めていましたが、制度だけでは限界を感じ、ライフスタイルに合わせて働き方を変えてきました。

妊娠出産を経て、今は「つくりたい社会を編集する」を軸に活動しています。

### 大澤 歩さん 明石こころのホスピタル 看護部長

看護師は夜勤があるが、変則2交代勤務を導入し、夜勤の時間を短くすることで、ワークライフバランスを進めています。

また申し送りや看護記録のデジタル化にも力を入れており、業務を効率化することで、患者ケアの充実につなげています。

### 森 太郎さん 明石市 市民とつながる課 課長

あかし女性応援ねつとの10年の歩みと並行し、明石市はジェンダー平等の取り組みを進めてきました。2021年にジェンダー平等プロジェクトチームを立ち上げ、2023年にはジェンダー平等推進条例を制定。今は、啓発と支援を両輪とした取り組みを進め、特に明石市の未来を見据え、若年層に向けた啓発にも力を入れています。

制度や環境を整える取り組みが企業の業績に反映している事例、制度はあるものの使いづらい環境であった事例、生活スタイルに合わせて働き方を工夫している事例、自治体の立場で取り組みを進めている事例を紹介いただきました。

大崎さんからは、その制度や取り組みを、職場や自分の環境に合わせて“選択”できる仕組みが必要であることや、明石市に根ざした取り組みを発展させてほしいとのお言葉がありました。

## 第3部 交流タイム

みんなで語ろう！あかしのジェンダー平等のこれから

第1部基調講演や、第2部パネルディスカッションを受けて、これからの明石のジェンダー平等について、グループで意見交換し、発表しました。

【大崎さんの講評】

話がとても盛り上がりましたね。このテーマは制度だけでは不十分で、どう運用するかの工夫が必要です。ジェンダーは女性だけの問題ではなく、男性や若者をどう巻き込むかが大切になってきます。新たな気づきを得るために、デジタル世代である若者との対話も実現してほしいです。

ファシリテーター

あかし女性応援ねつと  
運営委員 前田 由美子



### 閉会あいさつ

本日は、第1部から第3部まで、違った角度から学ぶことができました。何か1つでも心に残るものを持ち帰っていただきたいと思います。大崎さんにはお忙しい中お越しいただき、本当に感謝しております。

これからも、あかし女性応援ねつとは、勉強や交流会を続けてまいります。今日のご参加いただき、本当にありがとうございました。

あかし女性応援ねつと  
副代表 小河 作江

